

平成 30 年度の決算について

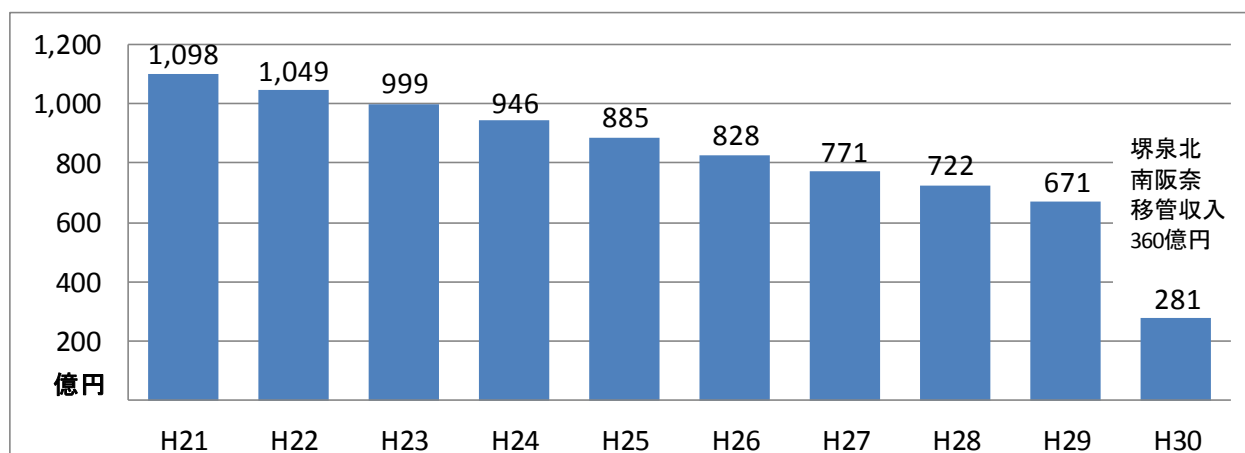
2019 年 7 月
大阪府道路公社

大阪府道路公社は、安心・安全で利便性の高い道路サービスを提供するため、道路を適切に維持管理するとともに、中期経営計画にもとづき経費縮減に努めつつ、建設費の計画的な償還に取り組んでいます。この度は、平成30年度の決算概要及び中期経営計画（平成28～30年度）の目標達成状況について取りまとめました。

I 平成30年度決算概要

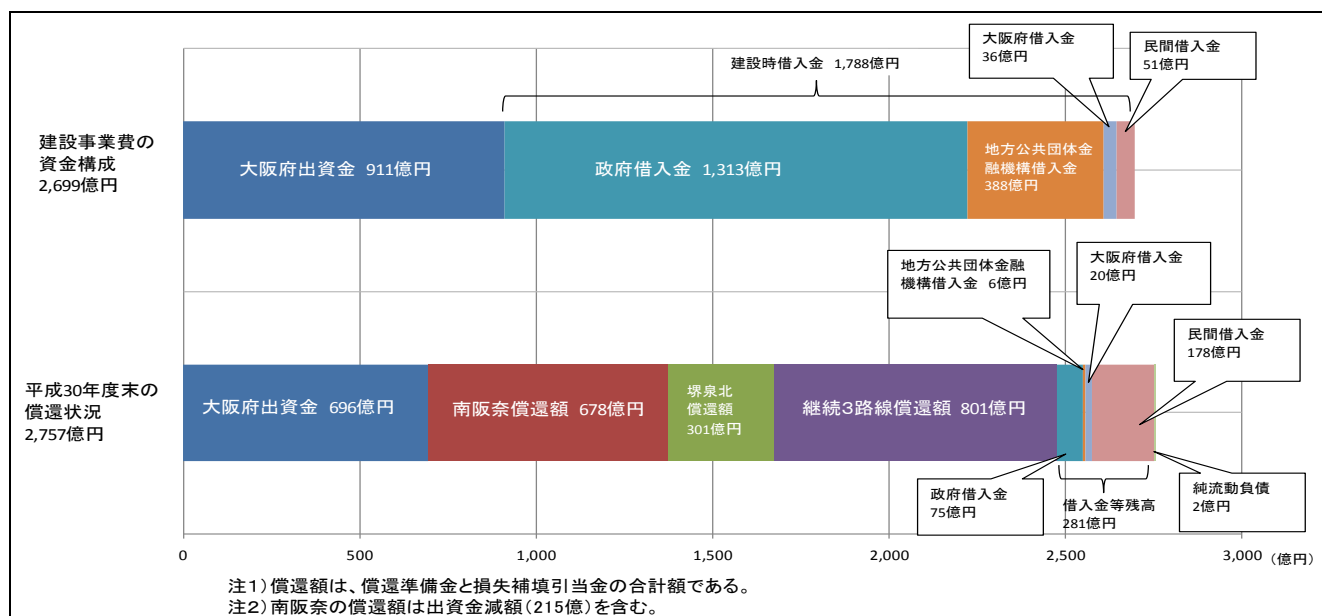
- 2路線（堺泉北・南阪奈）移管後の継続3路線の収入は66.5億円に対し、管理費及び業務外費用（支払利息）等が35.9億円で、収支差は、30.6億円となり、これを償還準備金23.6億円及び損失補填引当金7億円として繰り入れました（表1）。
- 30年度における収支差と移管2路線（堺泉北・南阪奈）の移管収入（360億円）を基に借入金の返済を進めた結果、30年度末の借入金等残高は29年度末と比べ390億円減少し、281億円となりました（図1）。
- 公社5路線建設時の資金構成との比較では、建設時の借入金等残高1,788億円に対し、30年度末には281億円まで削減（返済率84.3%）が進みました（図2）。

図一1 借入金等残高の推移



注) 借入金等残高とは、固定負債（＝長期借入金）に「流動負債－流動資産等」を加えたもの。

図一2 建設事業費の資金構成と償還状況



表一 1 損益計算書

(単位：億円)

	平成29年度	平成30年度	増減額	
				対前年比
有料道路事業収入	101.5	66.5	△ 35.0	65.6%
道路料金収入	100.1	63.3	△ 36.8	63.2%
業務外収入	1.4	3.2	1.8	222.9%
収 益 合 計	101.5	66.5	△ 35.0	65.6%
有料道路事業費	101.5	66.5	△ 35.0	65.5%
有料道路事業費	99.3	64.3	△ 35.0	64.8%
道路維持費	12.3	10.2	△ 2.1	82.6%
道路管理費	24.4	20.2	△ 4.2	82.9%
特別法上の引当金繰入額	56.5	30.6	△ 25.9	54.1%
道路事業損失補填引当金繰入額	10.3	7.0	△ 3.3	67.6%
償還準備金繰入額	46.2	23.6	△ 22.6	51.1%
業務外費用	6.1	3.2	△ 2.9	52.3%
一般管理費	2.2	2.3	0.1	103.0%
役職員諸給与	1.9	2.0	0.1	107.0%
管理諸費	0.3	0.3	0.0	112.8%
費 用 合 計	101.5	66.5	△ 35.0	65.5%

表一 2 貸借対照表

(単位：億円)

資 産 の 部				
科 目	平成29年度	平成30年度	増減額	増減率
流動資産	17.1	18.2	1.1	6.4%
固定資産	2,855.2	1,890.8	△ 964.4	-33.8%
道路資産	2,855.0	1,890.7	△ 964.3	-33.8%
有形固定資産等	0.2	0.1	△ 0.1	-50.0%
資産合計	2,872.4	1,909.0	△ 963.4	-33.5%
負 債 及 び 資 本 の 部				
科 目	平成29年度	平成30年度	増減額	増減率
流動負債	25.3	20.1	△ 5.2	-20.6%
固定負債	663.0	278.9	△ 384.1	-57.9%
政府借入金	160.2	75.6	△ 84.6	-52.8%
その他借入金	502.8	203.3	△ 299.5	-59.6%
特別法上の引当金等	1,174.6	871.9	△ 302.7	-25.8%
損失補填引当金	185.5	194.0	8.5	4.6%
償還準備金	989.1	677.9	△ 311.2	-31.5%
負債合計	1,862.9	1,171.0	△ 691.8	-37.1%
基本金	911.2	695.9	△ 215.3	-23.6%
大阪府出資金	911.2	695.9	△ 215.3	-23.6%
資本剰余金	98.3	42.1	△ 56.2	-57.2%
工事負担金	98.3	42.1	△ 56.2	-57.2%
資本合計	1,009.5	738.0	△ 271.5	-26.9%
負債及び資本合計	2,872.4	1,909.0	△ 963.4	-33.5%

II 建設費の償還状況

移管2路線を含めた公社5路線の建設費の償還状況は、道路資産額 2,757 億円に対し、償還準備金、損失補填引当金及び2路線移管額の合計である償還済額 1,565 億円で、償還率は57%となりました。

これを継続3路線のみで見ると、道路資産額 1,849 億円に対し、償還準備金及び損失補填引当金の合計は 801 億円で、償還率は 43%となっています。

表-3 路線別償還状況

有料道路名		堺泉北	南阪奈	移管2路線計	鳥飼仁和寺大橋	第二阪奈	箕面	継続3路線計	合計(百万円)
料金徴収期間		27年	14年		40年	22年	40年		
料金徴収満了期限		H30.4移管	H30.4移管		H39.2月	H31.3月	H59.5		
大阪府出資金(H29末)	①	6,635	22,645	29,280	2,040	42,295	17,500	61,835	91,115

〇30年度の償還状況

計画交通量(台/日)					10,526	34,336	6,844		51,706
実績交通量(台/日) (対計画比)					10,696 101.6%	33,501 97.6%	9,246 135.1%		53,443 103.4%
収益(百万円)	②				351	4,575	1,720		6,646
費用(百万円)	③				151	2,561	870		3,582
償還準備金等繰入額 (百万円)	④=②-③				200	2,014	850		3,064
道路資産額(償還対象額)	⑤	25,656	65,148	90,804	10,200	124,574	50,089	184,863	275,667
償還済額(H30年度末) (償還率)	⑥=前年度末額+④ (⑥/⑤)	30,088	46,278	76,366	5,375 52.7%	68,430 54.9%	6,303 12.6%	80,108 43.3%	156,474 56.8%
出資金減額	⑦		21,520	21,520					21,520
出資金(H30年度末)	⑧=①-⑦	6,635	1,125	7,760	2,040	42,295	17,500	61,835	69,595
未償還額(百万円)(注)	⑨=⑤-⑥-⑦	-4,433	-2,650	-7,083	4,825	56,144	43,786	104,755	97,672
うち借入金等残高(H30年度末)	⑨-⑧	-11,068	-3,775	-14,843	2,785	13,849	26,286	42,920	28,077

(注) 未償還額のマイナスは損失補填引当金相当額

〇29年度の償還状況

計画交通量(台/日)		44,980	40,088		10,546	34,369	6,628		136,611
実績交通量(台/日) (対計画比)		43,884 97.6%	28,813 71.9%		10,271 97.4%	34,218 99.6%	7,559 114.0%		124,745 91.3%
収益(百万円)	②	1,749	2,070		334	4,699	1,301		10,153
費用(百万円)	③	726	975		219	1,720	865		4,504
償還準備金等繰入額 (百万円)	④=②-③	1,023	1,095		115	2,979	436		5,649
道路資産額(償還対象額)	⑤	25,656	65,148		10,200	124,574	50,089		275,667
償還済額(H29年度末) (償還率)	⑥=前年度末額+④ (⑥/⑤)	24,382 95.0%	16,033 24.6%		5,175 50.7%	66,416 53.3%	5,453 10.9%		117,460 42.6%
未償還額(百万円)	⑦=⑤-⑥	1,274	49,115		5,025	58,158	44,636		158,207
うち借入金等残高(H29年度末)	⑦-①	-5,362	26,470		2,985	15,863	27,136		67,092

※ 借入金等残高合計は、固定負債(=長期借入金30年度末)に「流動負債-流動資産等」を加えたものに一致する。

※ 道路資産額=道路資産+建設仮勘定-資本剰余金

※ 計画交通量は、事業許可における台数。(鳥飼仁和寺大橋=平成29年1月事業許可変更許可 第二阪奈=平成30年3月事業許可変更)

Ⅲ 中期経営目標に対する達成状況

当社は、安心・安全な道路サービスを提供しつつコスト削減を図り、建設費の計画的な償還に努めることとし、中期経営計画（28～30年度）を策定し、計画期間内の各年度の償還準備金等繰入額（収支目標）及び借入金等残高を中期経営目標として設定しております。平成30年度の経営目標に対する取組み結果については、以下のとおりです。

1. 償還準備金等繰入額の目標と実績

（単位：百万円）

（損益計算書ベース）	平成30年度（3路線）		
	中期経営目標（A）	決算（B）	（B）－（A）
通行台数（台/日）	57,875	53,443	△ 4,432
収益（料金収入等）A	7,227	6,646	△ 581
費用（道路管理費等）B	3,618	3,582	△ 36
償還準備金等繰入額 （A-B）	3,609	3,064	△ 545

※H30中期経営目標は、平成29年5月に改定した中期経営計画の数値。

- 収益は、中期経営目標と比べ約5.8億円の減少となりました。
 - ・ 鳥飼仁和寺大橋は大阪北部地震の影響による交通量増の傾向を維持 0.2億円の増
 - ・ 第二阪奈有料道路は大雨等の影響により交通量が減少 1.2億円の減
 - ・ 箕面有料道路は新名神高速道路乗継交通量が予測を下回った 4.8億円の減
- 費用は、第二阪奈有料道路の移管準備のための増があったものの、事業の再精査及び料金収入の減少に伴う消費税の減等により、全体として約36百万円の縮減となりました。
- これらの結果、償還準備金等繰入額は経営目標と比べ約5.5億円の減少となりました。

2. 借入金等残高の目標と実績

償還準備金等として30.6億円を繰り入れ、償還準備金等積立額は871.9億円となり、平成30年度末の借入金等残高は中期経営目標284.3億円に対し280.8億円となりました。

（単位：百万円）

（貸借対照表ベース）	平成30年度（3路線）	
	中期経営目標	決算
償還準備金等積立額	86,891	87,191
借入金等残高	28,432	28,077
出資金	69,595	69,595
合計（道路資産）	184,918	184,863

※H30中期経営目標は、平成29年5月に改定した中期経営計画の数値。